

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則

効率化で安全まもれるか

検修外注化ブロック別会議



6月3日、大宮市内にて「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に関する推進に関するブロック別会議を、地方本部及び関係地方本部職能別協議会役員を中心に対策会議を行いました。

この会議は、グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進、いわゆる車両検修業務委託が昨年10月1日から実施されて以降、東日本本部として実態及び今後の取り組みと合わせ、昨年10月1日出向発令を踏まえ、実態調査をもとにブロック別に意思統一が図られました。東日本本部は今後、各地方から出された意見と課題を集約し、見直し要求に向けたとりまとめ、偽装請負の監視強化に努め、地方毎に学習会を計画する。各事業所毎にの実態と取り組みの共有化を図る観点から、地方毎に交流会が開催出来るようになるなど、全体で確認しブロック別会議を終了しました。

組織強化・拡大、労働条件改善の闘いに奮闘しよう！



実態調査で浮き出た

検修外注化実態調査は、土浦・水戸・勝田の各MTS事業所（水戸鉄道サービス）で行われました。集約した結果です。

業務内容及び教育・訓練

構内運転士はJR時と同様。用品倉庫は定期訓練等は一切無いが、業務上必要があればJRとMTSで打ち合わせ。仕業検査、信号は、定期訓練を実施しているがJR資料の読み合わせ。問題は出すが回答が出ない。

作業責任者の体制及び指示命令系統

作業責任者の教育や訓練が不足し知識不足は歪めない。清掃・構内・仕業検査を1人で対応し迅速な対応が取れない。

作業環境

特にJR時と変化はないが、しかし、精神的環境面となると、給料削減・出向者に対する様々な制限・事務手続きも増えた理由も環境悪化。

労働条件の相違

JRと比較し休日5減。半休制度がない。

福利厚生との相違

MTS主催で社内旅行（約8割程度会社負担）が企画され、他の職場の方と交流が出来る。事務手続きが増え、煩雑で支給までに長時間が経過する。（貸与期間・枚数）

その他

MTS会社のプロパー社員要請の見直し。作業資料（規定類）自社で作成し教育・訓練すべき。

貨物会社、本日に至っても「夏季手当回答」の日時も明らかにせず、本部は「抗議」と見解を質す！

JR貨物本社は、国労と3回の夏季手当交渉（5/15申入れ、5/21 5/29 6/6）を行う中で、6月14日に各組合に回答を予定、本部も待機していたが、14日は19時に至って「本日は回答できない」と連絡をしてきた。

週明けの本日17日、改めて回答日の取り扱いについて折衝を行うも、回答に対して見解を示せない事から、緊急に「抗議」と回答できない理由等について見解を質した。申し入れは、小池業務部長、星野執行委員で行った。

（国労）毎回の回答遅延だが、今回は異常な事態と言わざるを得ない。回答日について示せない理由は何か。
（会社）社内調整に時間がかかっており現段階で回答できない。（本部伝送 245号の一部より掲載）

偽装請負が疑われる業務の有無

用品倉庫の臨時作業内容は、JRとの作業発注書が出ない時が見受けられる。一方、仕業検査は体制が整っていない（自社の道具）のにJRから安易に受注。作業責任者の教育とJRとの勉強会を定期的に実施すること。